

自然と共に生きる厚岸町



佐倉 咲之介 (さくら さくのすけ)

北海道札幌市出身。道内にてイベント会社での勤務を経た後、2021年に厚岸郡厚岸町へ移住。同年厚岸町地域おこし協力隊として着任。協力隊卒業後は拠点先である厚岸町森林組合に就職するため、日々勉強しています。

【地域おこし協力隊となったきっかけ】

私は札幌市出身ですが、厚岸町には幼少の頃何度か来たことがありました。というのも、厚岸町では「あつけし桜・牡蠣まつり」というイベントがあり、自分の父親が大の牡蠣好きということもあったため、家族で何度か訪れたことがあったからです。そのため「厚岸町は自然に恵まれていて、食も盛んな素敵な町」という印象はあったのですが、中学生以降はなかなか厚岸町を訪れるタイミングがなくなりました。

それから数年が経ち、22歳の時に今の妻と結婚し1人目の子どもも授かりました。その時はイベント会場で設営・撤去をする仕事をしていたのですが、同年に新型コロナウイルスによりイベント自体が激減してしまいました。ウイルスが収まる兆しもなく困っていた時、妻が偶然にも厚岸町出身だったということもあり、厚岸町のホームページなどを調べていたところ地域おこし協力隊募集のページを見つけました。厚岸町は思い入れある町なのは勿論ですが、なによりこの大自然に恵まれた厚岸町なら子どももすくすく成長できるのではないかと思い移住を決意しました。私が応募した地域おこし協力隊の所属先は厚岸町森林組合というところ

で林業メインの活動となります。林業自体も前からとても興味があり、いつかテレビで見た林業の職人さんが伐木しているところを見たときに強い憧れを抱き、いつかこんなカッコいい職人になりたいという気持ちがあったため応募を決めました。

【厚岸町の魅力】

厚岸町は港町ということもあり漁業が盛んで、その他にも林業・農業ともに盛んな町です。特に厚岸産の牡蠣はとて有名で、牡蠣料理メインのお店が3店舗入った厚岸町道の駅「厚岸味覚ターミナル コンキリエ」では毎週末、観光客で行列ができるほど厚岸産の牡蠣は愛されていると言えます。また厚岸ウイスキーはウイスキーの国際コンテスト「ブレンデッドウイスキー部門」で世界一になったため、地元の人でもなかなか手に入らないほど人気になるなど、食が特に盛んな町です。

スーパー・コンビニ・公園・学校・保育所なども充実しているので、生活する上で困ることのない住みやすい町です。

【厚岸町の地域おこし協力隊としての課題】

現在2年目になりますが、課題が3つあります。1つ目は、「地域おこし協力隊として厚岸町の魅力を日々情報発信しもっと厚岸を知ってもらいたい」ということです。牡蠣や厚岸ウイスキーは勿論



のこと厚岸町は海も森も豊かな町ということで高台などから見た町の眺めがとても綺麗であり、鹿・キツネ・丹頂鶴・白鳥などが多く生息しているため、まるで動物達と共存しているかのような生活を味わえるので自分のような動物好きにはたまらないです(笑)。こういった魅力を皆さんに知っていただけるよう日々情報発信しております。



動物達と共存しているかのような生活を味わえるので自分のような動物好きにはたまらないです(笑)。こういった魅力を皆さんに知っていただけるよう日々情報発信しております。

2つ目は「林業を若い世代の人たちに知ってもらう」ということです。林業の盛んな地域では知られていることは多いですが、都市部では「そもそも林業ってどういう仕事なのかかわからない」という若い方たちが多いです。林業は深刻な人手不足ではありますが、林業を知らないのであればそもそも若い人たちの就職先の選択肢にも入れないと思い、SNSなどを通して少しでも若い人たちに知ってもらうことで林業を盛り上げていけるよう日々努力しております。

3つ目は「地域おこし協力隊卒業後、森林組合の職員となるための作業スキルのレベルアップ」です。現在2年目となり作業もだんだん慣れてきましたが、まだまだ覚えるべき仕事は山ほどあります。それらを少しでも身につけ、職員になった時に1つや2つでも現場を任せてもらえるよう、これからも現場の先輩方の指導の下で日々勉強していきたいと思っております。

【厚岸町地域おこし協力隊の活動内容】

基本的に森林組合の先輩達と山仕事を行います。森林組合の仕事は大まかに四季によって異なる作業を行うので、四季ごとに細かく説明します。



植え付け作業

春は主に苗木の植え付け作業になるのですが、すぐに植えるわけではなく最初に地ごし^{くわ}らえ作業ということを行います。この作業は笹などの雑草を草刈り機で刈った後、雑草や木の枝などをブルドーザーで除去することで植え付けがしやすい環境を作り、それが終わり次第初めて植え付け作業を行えるようになります。植え付け作業は、すべて鋤を使って1本1本手で植えることになり、植える際も苗木から苗木までの距離が決まっているので、それに従いながら植え付け、これを春シーズン中に約1～2万本植えることとなります。

夏は、春に苗木を植えた場所をメインに行う下刈り作業を行います。作業自体はい



下刈り作業

たってシンプルですが、時期が夏ということなのでとにかく暑いです…。ですので、こまめな休憩と十分な水分補給は必須です。また、山ということなので蜂や熊などにも十分気をつけないといけなく、クマよけスプレー・蜂スプレーを常備して作業を行います。下刈り作業以外にも、厚岸町の農家さんのお手伝いでコントラクター^{*}という作業も行います。

秋は春と同じく植え付け作業を行います。通常なら秋に植え付け作業は行わないのですが、厚岸町は秋に植え付けを行ってもしっかりと育つため、この時期にもう一度植え付けを行います。



伐木作業

冬は立木の伐木作業があります。伐木作業にも種類があって、基本的にはその中の「間伐^{かんぼつ}」と「除伐^{じょぼつ}」をメインに行っており、これらの違いは切る木の選び方にあります。間伐は木が成長する際、木が混みあって日の光が当たりづらくなる^{かんぼつ}と十分に育ちづらくなるため、それを防止するために一部の木を間引く作業となります。対して、除伐は生育中の若い木を守るために育成対象以外の木を切る作業となっており、似て非なる作業です。また、この伐木ではチェーンソーを使用するため、使用時は防護服を着用し細心の注意を払いながら作業を行っております。

以上が、1年のおおまかな作業内容ですが、これ以外にも紹介しきれていない作業がまだまだあります。これらの仕事を先輩方の指導の下これからも日々勉強し続け、任期終了後の職員への道を目指しております。

【最後に】

自分の任期も2年目を迎えました。ですが「若い人に林業を知ってもらう」という点に関してはまだまだ足りないと感じております。あと残り1年ですが、様々なSNSを使い一人でも多く林業を知ってもらい、興味を持ってくれるよう日々精進して参りますので応援していただけると幸いです。そして道東に来る際はぜひこの魅力ある町、厚岸町にお立ち寄りください。

^{*}農作業の受託業務